

Tama+project

performance vol.9

2015年 3月 9日 月 19:30 開演

10日 火 19:30 開演

11日 水 15:00/19:30 開演



*11日開演前、14:46に黙祷致します。
*開場は開演の30分前を予定しています。

Hamlets

ハムレット

2011年2月、江戸馨さん主宰のTSC公演「ハムレット」に参加。その台本をベースにしたソロ公演を企画、妄想しているさなか、3月11日を境にすべては変わってしまいました。4年後、PCの片隅に残されていたその話が、2人の「ハムレット(ツ)」と水の中からよみがえった3人の「オフィーリア」たちの「魂振り／魂鎮め」としてよみがえったのは、戯曲「ハムレット」には時空を超えて「自分の」と思わせる「ことば」が散りばめられているからかもしれません。大好きな江戸さんのことばを懐に抱えて15年ぶりに新宿に戻ります。昨年3月11日にタイニイアリスに立っていた茅根利安さん、関東の大切な先輩や仲間たち、仙台の大姉もお招きして今回のチームができました。全員で4年目の3月11日に向き合います。長く親しんだタイニイアリスの空間にも心からの感謝を込めて。

丹下 一

予約・問合せ タイニイアリス / 03-3354-7307
Tama+ project / tama_plus_project@ybb.ne.jp

前売 2,800円 当日 3,000円
会場 タイニイアリス (Alice Festival 2014 参加作品)

Tiny Alice タイニイアリス NPO ARC
160-0022 東京都新宿区新宿 2-13-6-B1 TEL 03-3354-7307
tinyalice@tokyo.email.ne.jp



絵永けい (えながけい)
仙台出身。劇団洪洋社を経て'82年、十月劇場創立に参加後、「OCT/PASS」(以上石川匡人=後に裕人主宰)に至るまで劇団の中核としてほとんどの作品に出演、全国各地で公演、交流。劇団外でも様々な活動を続けている。'99年 宮城県芸術選奨新人賞。'09年 宮城県芸術選奨・演劇部門受賞。仙台を代表する女優の一人。



野田貴子 (のたかこ)
玉川大学演劇専攻卒業。現在フリーの俳優。小劇場の舞台出演を中心に、テレビCM、声優など幅広く活動。美術家やミュージシャン、ダンサーとのコラボレーションなど、市井の感覚や営みを大切にしながらスタイルにとらわれず既成概念を越えた表現を探っている。あらゆるライブ形式のパフォーマンスがより多数の人々に親近感を持って楽しんでもらえたらと思っている。



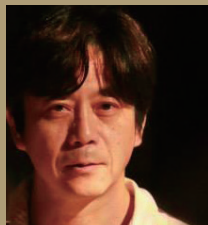
橋本識帆 (はしもとしほ)
宮城県石巻市出身。「あの日」は職場にいた。立体駐車場に避難し数日を過ごした後、父が作った発泡スチロールの筏で救出される。茅根利安が講師を務める仙台市の学校で演劇を学び、現在は都内の声優学校で修業中。今回が初舞台。

撮影：山口敦



茅根利安 (ちのねとしやす)
仙台市出身。1979年から劇団LO150の創立メンバーとして26年間劇団の中心的存在として舞台上立ち続け全国各地で公演、後退団。1999年、宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年、東日本大震災からの心の復興を祈念し「コロノキンセンアワー演劇部」を旗揚げ。宮城、東京、韓国などで公演。2014年アリスフェス特別賞受賞。仙台を代表する演劇者の一人。

撮影：山口敦



丹下 一 (たんげまこと)
様々な国の歴史や文化を背景に「日本」のエッセンスを探求する現代演劇活動を続けている。00年、プレイバックーズに参加。02年より天女神楽団(熊野天女座拠点)で台本演出担当。10年よりTama+ project開始。各々並行して活動。国内各地をはじめ海外での活動多数。仙台とは1985年に交流開始。劇団LO150に客演、十月劇場にゲスト出演している。

なぜ二人のハムレットなのか。ときに鏡のように映しあい、ときに光と影になる。オフィーリアは三人。彼女が入水したのか、水が彼女を呑みこんだのか。シェイクスピアと3.11の記憶とが重なりあい、万華鏡のように乱反射する。だからこそその複数形。これは死者たちへの鎮魂の物語ではない。なにもなかったような顔をして未来へ進もうとする世界への反逆。死者たちへ手向ける「霊振り」の儀式だ。 寮 美千子

テキスト W シェイクスピア
「ハムレット」 訳：江戸 馨 ほか

構成演出 丹下 一

出演 絵永けい (Theatre Group "OCT/PASS": 仙台)
茅根利安 (コロノキンセンアワー: 仙台)
野田貴子
橋本識帆
丹下 一

楽 師 (作曲・演奏) 水野俊介 (5弦ウッドベース)

映 像 ヒゲマ春夫

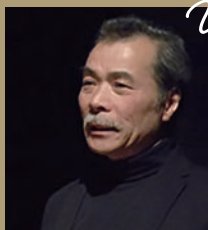
照明 / 阿部康子
宣伝美術写真 / 尾田 学
宣伝美術デザイン / 秋山智子
演出助手 / 保高史子
協力 / 中越こう、藤得 顕、
村田直樹、小野寺夏海

Special Thanks
水木菜花 (support conceiver)



Sounds

水野俊介 (みずの しゅんすけ)
80年よりポストバークリー音楽院にジャズを学ぶ。95年に「OCMレコード」を設立、現在までに11枚のCDをリリース。05年ドイツのレーベルよりCDリリース、好評を得る。'11年'14年ドイツでの現代美術展でソロ演奏等、欧州での活動多数。作曲や演奏、CD制作の他に、演劇、美術、映像などとのコラボレーションなど独自の世界観を持つ音楽を追求している。



Video installation

ヒゲマ春夫 (ひげま はるお)
映像作家・美術家。'90年年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてNYに滞在、ビデオインスタレーションをリサーチする。以後、積極的に映像インスタレーションを組織し、個性豊かなアーティストとコラボレーションを行う。
撮影：玉内公一

企画制作 / Tama+ project <https://www.facebook.com/Tamaproject>

Tama+project